

「Web WHOPLUS」 変更のご案内

～ “人物ファイル横断” がより使いやすくなります～

2005年8月に変更しました

① 便利なナビゲーション・バー

ナビゲーション・バーが各画面につきました。スムーズな画面移動を実現します。

② 「WHOPLUS TOP」へすばやく戻る

WHOPLUSのトップ画面にワンクリックで移動できる便利なボタンを追加しました。

③ 文献情報へのリンクを強化

人物ファイル横断でヒットした「WHO」からも文献情報を閲覧できるようになりました。

※ 従来の“関連文献”は、「人物文献」に名称を改めました。

④ ワンクリックで文献表示できる

ワンクリックで文献データベースの詳細情報をチェックできるようになりました。

※従来の「ヒット件数」「一覧情報」の各画面は表示されません。クリックすると詳細情報が表示されます。



WHOを単独検索した場合も共通です。画面は2005.7.20現在のものです。

＜文献情報閲覧についての注意点＞

- ・「図書検索」は、表示されている人名を著者名としてBOOKPLUSを検索した結果を表示するものです。
- ・「記事・論文検索」は、表示されている人名を著者名としてMAGAZINEPLUSを検索した結果を表示するものです。
- ・従来の「ヒット件数」「一覧情報」の各画面は表示されません。クリックすると文献詳細情報が表示されます。
- ・検索結果に同名異人が含まれるケースがあります。
- ・「人物文献」「図書検索」「記事・論文検索」は、刊行年月の新しいものから10件ずつ表示されます。
- ・キーワードから検索したい場合や一覧画面を確認した上で詳細情報を閲覧されたい場合は、Web BOOKPLUS、Web MAGAZINEPLUSをご利用ください。

今後とも
Web WHOPLUS をよろしくお願いたします。